

# 5月26日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始:午前 11 時

礼拝後、バザー

司 会 : 大神真伸兄  
 奏 楽 : 米田 香 姉  
 おいのり : 赤塚孝子姉  
 さ ん び : 新聖歌 209 (慈しみ深き) 1・2・3 節  
 ヤベツの祈り  
 聖 書 : コリント人への第二の手紙 4章 7 ~ 12 節  
 (朗読:下岡晶子姉)  
 音 楽 : 大神 雄 & 倉知 契 牧師  
 証 し : 森實聡司兄  
 メッセージ : 「最高級の土の器」倉知 契 牧師  
 さんびと 献金 : ♪ 新聖歌 233「驚くばかりの」1・3・4  
 頌 栄 : ♪ 新聖歌 162「ハレルヤハレルヤハレルヤ」  
 祝 禱  
 報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会へようこそ！心からご歓迎いたします。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
  - 木曜祈禱会:朝10:30
  - 土曜 : 会堂清掃 10:30~、 11:15~準備祈禱会
- ◇ 宿題(祝大)今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
  - Aコース : ヨハネ 7章~9章
  - Bコース : 列王紀下 23 章~歴代志上 16 章
- ◇ 今日、礼拝後 バザーを行います。皆さんで楽しい時間を過ごしましょう。また おいしいお食事も。

◇次聖日礼拝奉仕者(2013年6月2日)  
 [司会:赤塚敏郎兄、いのり:加藤由美子姉、聖書朗読:平松友子姉]  
 [ピアノ:片岡立子姉]  
 [アシスト:加藤由美子姉 & 大神久美姉]  
 [献金:平松友子姉、受付:下岡晶子姉]  
 ◇PA:平松章治兄                      ◇週報編集:片岡洋一兄  
 ◇ホームページ編集:大神真伸兄



「しかし、このすばらしい宝は、こわれやすい器の中に入っています。うちにある、その栄光に満ちた力が、確かに神様から与えられます。だれの目にも明らかです。」 (リビングバイブル)

新横浜から新幹線に乗るまで、少し時間があつたので、KIOSKで斎藤孝さんの「養生訓〜ほどほどで長生きする」という本を買いました。養生を現代のことばで置き換えれば、最も近いのは「健康」。養生訓は健康な暮らし方の解説として、江戸時代の儒教学者・貝原益軒が書いたものです。現代の言う健康とは、単に「病気をしていない」とか「元気である」という意味が、養生ではそれにとどまらない。心身の健康のみならず、親孝行を尽くしたり、人倫の道を行ったり、義理に従ったりすることを含んでいる。その中に「飲食の心得」という章があつて、「腹八分目」など、耳が痛い内容もありましたが、教えられたことも多くありました。

怒りの後、早く食すべからず。食後、怒るべからず。  
 憂いて食すべからず、食して憂うべからず。

食事の前後で怒ってはいけない。憂いてもいけない、という教え。多くの憂いは取り越し苦労だったりするので、食するときくらい忘れよう。食事中は、怒りと憂いを通行止めして、明るい話題だけを楽しむようにすると、健康にいいそうです。皆様の食卓はいかがでしょう？

お一人暮らしの方もいらっしゃると思いますが、教会に来ると皆さんで食事をいただくことができ感謝です。しかも心配を忘れさせるような楽しい証し、替え歌、先週は「瀬戸弁」を勉強しました。覚えていますか？「ほや、ほや」！ペンテコステを経験した初代教会の特徴は、『ひたすら使徒たちの教えを守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈りをしていた(使徒2章42節)』こと。教えもお祈りも大事ですが、交わりと食事も教会成長の鍵。今日は久々の楽しいバザー。けして「憂いて食すべからず、食して憂うべからず」です。仲良く皆さんで楽しみましょう！最後に、大好きなサラリーマン川柳をお届けします。今日のお昼はこれで行きましょう。

やせてやる！ コレ食べてから やせてやる！

瀬戸カルバリーチャペル                      倉知 契